

令和5年度

函館白百合学園中学校

一般入学試験問題(後期日程)

国語

令和5年2月5日(日)実施

注意事項

1. 試験時間は45分です。
2. 問題は□から□まであり、14ページまであります。
3. 答えはすべて別紙の解答用紙に記入し、解答用紙だけ提出しなさい。

次の問いに答えなさい。

問1 次の――線のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① カジツを好んで食べる。
- ② ホウチョウさばき。
- ③ スープがサめる。
- ④ 別れをツげる。
- ⑤ お金をカしてもらう。
- ⑥ 将来ベンゴシをめざす。
- ⑦ 信頼回復にツトめる。
- ⑧ 自分のツトめをはたす。

問2 次の――線のカタカナを漢字と送りがなに直しなさい。

- ① 答えをミチビク。
- ② サイワイけがは軽かった。

問3 次の――線の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- ① 教えを説く。
- ② 家臣を信頼する。
- ③ 粉末にした薬。
- ④ 作戦を練る。
- ⑤ 実家に帰省する。
- ⑥ 文部科学省の職員。

問4 次の()には、それぞれ上にあげた部首を用いた漢字が入る。下の にあるひらがなのの中から適当なものを一つずつ選び、それぞれ二字の漢字の言葉を作りなさい。

(例) りつとう

..... 有(利)

(副)賞

ふく べつ り

れんが(れつか) 天(①)

(②)火

てん ねん ぶ

問5 次の()に漢字一字を入れて、対義語(反対の意味になる言葉)を作りなさい。

① 期待 | 失()

② 勝利 | ()北

③ 直接 | ()接

問6 次の四字熟語の | 線部のカタカナ部分に当てはまる漢字を、ア～エからそれぞれ選びなさい。

① 一念ホツキ

ア 発木

イ 発期

ウ 発起

エ 発気

② 四苦ハツク

ア 発句

イ 八句

ウ 初苦

エ 八苦

③ 油断タイテキ

ア 対的

イ 大敵

ウ 態敵

エ 対適

問7 次の□に共通する漢字一字を入れ、下の意味になる四字の言葉を完成させなさい。

① □体□命 …… この上なく危ない状態であること。

② □三□四 …… 何度も何度も繰り返すこと。

③ □人□色 …… 好みや考えは人によってさまざまであること。

問8 次の①～③の意味を、ア～エからそれぞれ選びなさい。

① 馬が合う

ア 同じぐらいの能力がある。

イ なんとなく気が合う。

ウ たまたま近くにいる。

エ 同じ目的につき進む。

② さじをなげる

ア 見込みがないとあきらめる。

イ 食事を中断させられる。

ウ 急にけんかがはじまる。

エ 占うらないによって行動する。

③ 油を売る

- ア 生活に必要なものを売る。
- イ 急いでいて額に汗あせをかく。
- ウ にせ物を人に売りつける。
- エ むだ話をして時をすごす。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

皆さんは、「オナモミ」という雑草を知っていますか。

トゲトゲした実が服にくっつくので「くっつき虫」という別名もあります。子どもの頃に、実を①ナゲ合って遊んだ人もいられるかもしれません。オナモミの実は知っていても、この実の中を見たことのある人は少ないのではないのでしょうか。

オナモミの実の中には、やや長い②種子とやや短い種子の二つの種子が入っています。

二つの種子のうち、長い種子はすぐに芽を出さすかち屋さんです。一方の短い種子は、なかなか芽を出さないのんびり屋さんです。オナモミの実は、①性格の異なる二つの種子を持っているのです。

A、このせつかち屋の種子とのんびり屋の種子は、どちらがより優れているのでしょうか。

そんなこと、わかりません。

早く芽を出したほうが良いのか、遅く芽を出したほうが良いのかは、場合によって変わります。

「②善は急げ」というとおり、早く芽を出したほうが良い場合があります。しかし、すぐに芽を出しても、そのときの環境がオナモミの生育に適しているとは限りません。「③急いで事は損じる」というとおり、遅く芽を出したほうが良い場合もあります。だから、オナモミは性格の異なる二つの種子を用意しているのです。

雑草の種子の中に早く芽を出すものがあつたり、なかなか芽を出さないものがあつたりするのも、同じ理由です。

早いほうがよいのか、遅いほうがよいのか、③クラべることに何の意味もありません。オナモミにとっては、どちらもあることが大切なのです。

芽を出すことが早かったり遅かったりすることは、雑草にとっては、④優劣ではありません。雑草にとって、それは個性なのです。

B、早く芽を出すものがあつたり、遅く芽を出すものがあつたりすると、いろいろと④不都合もありそうです。芽を出す時期は揃っているほうが良いような気もします。

バラバラな個性って本当に必要なのでしょうか？

バラバラな性質のことを「遺伝的多様性」といいます。

個性とは「遺伝的多様性」のことです。多様性とは「バラバラ」なことです。

しかし、どうしてバラバラであることが良いのでしょうか。

皆さんは、学校で答えのある問題を解いています。問題には正解があり、それ以外は間違いです。ところが自然界には、答えのないことのほうが多いのです。

C、先に紹介したオナモミに代表されるように、雑草にとっては、早く芽を出したほうがいいのか、遅く芽を出したほうがいいのか、答えはありません。

早いほうがいいときがあるかもしれませんが、じつくりと芽を出したほうがいいのかもありません。環境が変われば、どちらが良いかは変わります。どちらが良いという答えがないのですから、「どちらもある」というのが、雑草にとっては正しい答えになります。

D、雑草はバラバラでありたがるのです。どちらが、優れているとか、どちらが劣っているという優劣はありません。むしろ、バラバラであることが強みです。

(中略)

先に書いたように、自然界では多様性が大切にされます。それなのに、タンポポの花はどれもほとんど黄色です。

紫色や赤い色をしたタンポポを見かけることはありません。タンポポの花の色に個性はありません。これはどうしてなのでしょう。

タンポポは、主にアブの仲間を呼び寄せて花粉を運んでもらいます。5アブの仲間は黄色い花に来やすい性質があります。そのため、タンポポの花の色は黄色がベストなのです。

6黄色が一番いいと決まっているから、タンポポはどれも黄色なのです。

(稲垣栄洋 「はずれ者が進化をつくる」)

※出題の都合上、小見出しなどは省略し、漢字など表記をあらためました。

問1 **A** **D**に入る言葉を、ア～エからそれぞれ選びなさい。

ア だから イ それでは ウ しかし エ たとえば

問2 ー線1 「性」について後の問いに答えなさい。

(1) 「性」について説明した次の文章の【①】と【③】に当てはまるものを、ア～ウからそれぞれ選びなさい。

「性」という漢字の部首は【①ア】りっしんべん　イ　りつとう　ウ　しんによう【】である。これは、人間の心臓の形からできた「心」をもとにしてできたものである。「心」が漢字の下の部分についていた場合の部首名は【②ア】ひとあし　イ　したごころ　ウ　さら【】であり、この部首をもつ漢字には【③ア】熱　イ　延　ウ　感【】がある。

(2) 「性」という漢字を使った二字熟語を、ア～エから選びなさい。

ア　セイ春　　イ　学セイ　　ウ　感セイ　　エ　セイ確

問3 ー線2 「善は急げ」と ー線3 「急いては事をし損じる」は、反対の意味をもつことわざである。同じように、反対の意味をもつことわざの組み合わせを、ア～エから選びなさい。

ア 「一石二鳥」と「二兎を追う者は一兎をも得ず」
イ 「石橋を叩いて渡る」と「渡る世間に鬼はない」
ウ 「犬も歩けば棒に当たる」と「転ばぬ先の杖」
エ 「二度あることは三度ある」と「仏の顔も三度まで」

三

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

一九世紀の①アイランドでのお話です。

この頃のアイランドは、ジャガイモが重要な食料となっていました。ところが、歴史的な事件が起きました。

ジャガイモの疫病が大流行をして、アイランド国中のジャガイモが壊滅状態になってしまったのです。このとき、食べ物を失った多くの人たちは祖国を離れて、開拓地であったアメリカ大陸に渡りました。その大勢の移民たちの力が、当時工業国として発展していたアメリカ合衆国をさらに押し上げ、つくっていったと考えられます。そのため1ジャガイモは、「アメリカ合衆国をつくった植物」とも言われています。

それにしても……どうして国中のジャガイモがいつぱんに病気になるような大惨事が起きてしまったのでしょうか。

その原因こそが「個性の喪失」にありました。

ジャガイモは、種芋で増やすことができます。

2 優れた株があつて、そこから採れた芋を種芋として植えていけば、優秀な株を増やすことができます。そのためアイランドでは、その優秀な株だけを選んで増やし、国中で栽培していたのです。

それでは、「優秀な株」とは、いったいどんな株なのでしょう？

アイランドの人たちにとって、ジャガイモは重要な食糧でした。大勢の人口を支えるためには、たくさんジャガイモが必要です。そのため、収量の多いジャガイモが「優れた株」でした。そして、収量の多いジャガイモの品種を増やして、国中で栽培していたのです。

収量が多いジャガイモの品種は、ジャガイモの中のエリートとして位置づけられます。

しかし、その「優れた株」とされたジャガイモには、重大な欠点があつたのです。それが、胴枯病という病気に弱いということでした。

そして実際に一九世紀の半ばころ、その優秀なジャガイモは、この病気に侵されてしまうのです。

全国で、一つの品種しか栽培されていないということは、もしその株がある病気に弱ければ、国中のジャガイモがその病気に弱いということになりま

す。そのため、アイルランドでは国中のジャガイモで胴枯病が大発生し、壊滅的な被害を受けたのです。

ジャガイモは、南米②アンデス原産の作物です。南米のアンデスの歴史の中で、ジャガイモが壊滅するようなことは起こりませんでした。ジャガイモにはさまざまな種類があります。収量が多い品種もあれば、収量がやや劣っても病気に強い品種もあります。ある病気に弱くても、他の病気に強い品種もあります。このようにアンデスでは、さまざまなジャガイモと一緒に栽培していたのです。そのため、病気が発生して枯れる品種があっても、すべてのジャガイモが枯れてしまうようなことはありませんでした。

しかし、このような作り方では、収量を増やすことはできません。そこで、南米でジャガイモに出会った人々は収量が多いジャガイモを選んで、ヨーロッパに伝えました。そして、収量が多いジャガイモの中から、さらに収量が多いジャガイモを選び出し、エリートのようなジャガイモを作り上げていったのです。

自然界の植物には、個性があります、しかし、人間は「収量が多い」というたった一つの価値観でジャガイモを選び出しました。どんなに優秀であっても、個性がない集団はもろい。ジャガイモの事件は、個性の重要性を人間に見せつけたのです。

目の数は誰もが二つです。そこに個性はありません。

個性とは他者と違うことです。違うことが個性なのです。

違いがあるので、みんな同じではありません。見た目も違えば、考え方も、感じ方も違います。

もちろん、自分と気の合わないタイプもいます。嫌いなタイプもいます、多様性があるからです。

もし多様性さえなければ、みんな仲良くできるのではないのでしょうか。

それでは、自分と違うタイプの人がいると、人間関係も面倒くさいので、世界中の人がみんなあなたと同じようなタイプの人だったとしましょう。それならば、みんなあなたと同じようなことを考えるはずですから、世界中の人が仲良くすることができるとしましょう。戦争だってなくなるはずですよ。

しかし……本当にそれで良いのでしょうか。

あなたの好きなことは、世界中の人みんなが好きです。あなたの嫌いなことは、世界中の人みんなが嫌いです。お医者さんも、学校の先生も、ビルを

作る人も、プロ野球の選手も、ケーキ屋さんも、車を修理する人も、農家も、漁師さんも、アイドルもファッションモデルもユーチューバーも総理大臣も、すべての仕事をあなたと同じ能力や性質を持つ人がやらなければなりません。

3 そんな世界が成り立つでしょうか。

手先の器用な人や、計算が得意な人や、走るのが速い人や、料理が上手な人や、いろいろな人がいて、初めて世界が成り立ちます。

もし、世界中の人があなたと同じタイプだったとしたら、どうでしょう。4 もしかすると人類はアイルランドのジャガイモのように滅んでしまいかもしれません。

(稲垣栄洋 「はずれ者が進化をつくる」)

※出題の都合上、小見出しなどは省略し、漢字など表記をあらためました。

問1 ——— 線1 「ジャガイモは、『アメリカ合衆国をつくった植物』とも言われています。」とあるが、なぜそう言えるのか。その理由を説明した次の文章の に入る適切な言葉を本文中からそれぞれ三字で書きぬきなさい。

ジャガイモの疫病が A し、アイルランドのジャガイモが壊滅状態になり、そのとき B がなくなった多くの人たちがアメリカ大陸に渡った。その移民たちの力によって、当時 C として発展していたアメリカ合衆国がさらに押し上げられ、つくられていったと考えられるから。

問2 ——— 線2「優れた株」について答えなさい。

(1) 「優れた株」とは何か。十字以内で書きなさい。

(2) なぜ(1)が「優れた株」なのか。 に当てはまる言葉を本文中から十字以内で書きぬきなさい。

ために、できるだけ多くのジャガイモを収穫する必要があるから。

問3 ——— 線①アイルランド、②アンデスでのジャガイモの栽培について次のようにまとめた。【1】と【3】に当てはまる文を書きなさい。

ジャガイモの栽培方法	【 1 】	①アイルランド	②アンデス
栽培方法の良い点	栽培する品種によってはジャガイモの収量を増やすことができる。	さまざまなジャガイモを一緒に栽培する。	
栽培方法の悪い点	栽培している品種がある病気に弱ければ、国中のジャガイモが病気にかかり、壊滅状態になる。		【 3 】

問4 ——— 線3 「そんな世界が成り立つでしょうか。」について答えなさい。

(1) 「そんな世界」について具体的に説明した次の文章の に当てはまる言葉をそれぞれ指定の字数で書きなさい。

多様性がないので、世界中の人みんなが A 二十五字以内 ため、戦争などは起こらないという良さがある。一方で、 B 三十五字以内 という面もある。

(2) 「そんな世界が成り立つでしょうか。」という問いへの筆者の答えを、十字以内で考えて書きなさい。

問5 ——— 線4 「もしかすると人類はアイルランドのジャガイモのように滅^{ほろ}んでしまうかもしれません。」とあるが、筆者はどのようなことを言いたいのか。最も適当なものを、ア～エから選びなさい。

- ア 人類の個性が多様化することで戦争があちこちで起こり、おたがいを傷つけあうことによって、人類が減ってしまうということ。
- イ 人類の個性がなくなることで全員の弱点も同じになるため、その弱点に関わる問題が起こったときに人類が減ってしまうということ。
- ウ 人類の個性がなくなることでもみんなが仲良しになるため、特に何も問題が起こらない状態のまま、人類が減ってしまうということ。
- エ 人類の個性に関係なく、現在は環境破壊や戦争など多くの問題が起こっているため、それらによって人類が減ってしまうということ。

国語

受験番号	
------	--

氏名	
----	--

合計	
----	--

一

問 1 ① カ ジ ッ ② ホ ウ チ ョ ウ ③ サ める ④

⑤ カ して ⑥ ベ ン ゴ シ ⑦ ツ ト

問 2 ① ミ チ ビ ク ② サ イ ワ イ

問 3 ① 説 く ② 家 臣 ③

④ 練 る ⑤ 帰 省 ⑥

問 4 ① 天 ② 火 問 5 ① 失 ② 北 ③ 接 問 6 ① ② ③

問 7 ① ② ③ 問 8 ① ② ③

二

問 1 A B C D 問 2 (1) ① ② ③ (2)

問 4

問 5

問 6 (1) (2)

問 7 ① ナ げ合って ② 種 子 ③ ク ラ べる ④

三

問 1 A B C

問 2 (1) (2)

問 3 (1)

(2)

(3)

問 4 (1) A B

(2) 問 5

国語

受験番号

氏名

合計

一

- 問 1 ① 果^カ実^{ジツ} ② 包^{ホウ}丁^{チヨウ} ③ 冷^サめる ④ 告^ツげる
- ⑤ 貸^カして ⑥ 弁^{ベン}護^ゴ士^シ ⑦ 努^{ツト}める ⑧ 務^{ツト}め
- 問 2 ① 導^{ミチ}く^{ビク} ② 幸^{サイ}い^{ワイ}
- 問 3 ① と^説く ② か^家し^臣ん ③ ふ^粉ん^末まつ
- ④ ね^練る ⑤ き^帰せ^省い ⑥ か^科が^学く^省し^省ょう
- 問 4 ① 天^天然^然 ② 点^点火^火 問 5 ① 失^失望^望 ② 敗^敗北^北 ③ 間^間接^接 問 6 ① ウ ② エ ③ イ
- 問 7 ① 絶^絶 ② 再^再 ③ 十^十 問 8 ① イ ② ア ③ エ

小計 30

二

- 問 1 A イ B ウ C エ D ア 2×4 問 2 (1) ① ア ② イ ③ ウ (2) ウ 2×4 問 3 ア 2
- 問 4 イ 才 2×2 問 5 アアの仲間が黄色い花に来やすい性質があるため、タンポポの花の色は黄色がベストなのです。 3
- 問 6 (1) イ 2 (2) 黄色が一番いいと決まっています。だから、タンポポはどれも黄色なのです。 4
- 問 7 ① 投^ナげ^合合^合って ② し^種ゆ^子し ③ 比^クべる ④ ふ^不つ^都ご^合う

小計 35

三

- 問 1 A 大^大流^流行^行 B 食^食べ^べ物^物 C 工^工業^業国^国 2×3
- 問 2 (1) 収^収量^量が^が多^多い^いジ^ジヤ^ヤガ^ガイ^イモ (2) 大^大勢^勢の^の人^人口^口を^を支^支え^える 3×2
- 問 3 (1) 一^一つ^つの^のジ^ジヤ^ヤガ^ガイ^イモ^モの^の品^品種^種だ^だけ^けを^を栽^栽培^培す^する。 3
- (2) す^すべ^べて^ての^のジ^ジヤ^ヤガ^ガイ^イモ^モが^が枯^枯れ^れる^るこ^こと^とは^はな^ない。 3
- (3) ジ^ジヤ^ヤガ^ガイ^イモ^モの^の収^収量^量を^を増^増や^やす^すこ^こと^とが^がで^でき^きな^ない。 3
- 問 4 (1) A 自^自分^分と^と同^同じ^じタ^タイ^イプ^プの^の人^人で^で、仲^仲良^良く^くす^する^るこ^こと^とが^がで^でき^きる 4
- B す^すべ^べて^ての^の仕^仕事^事を^を自^自分^分と^と同^同じ^じ能^能力^力や^や性^性質^質を 4
- 持^持つ^つ人^人が^がや^やら^らな^なけ^けれ^れば^ばな^なら^らな^ない 4
- (2) 成^成り^り立^立た^たな^ない。 3 問 5 イ 3

小計 35